

## 匝瑳市区長会 「まちづくり座談会」 概要

テーマ： 「これからの住民協働と区長会の役割について」

- 1 日 時 平成26年10月15日（水）18時30分～20時30分
- 2 場 所 野栄総合支所2階学習室
- 3 参加者 匝瑳市区長会役員14人
- 4 市職員 太田市長 副市長 秘書課長 企画課長 総務課長 財政課長  
環境生活課長

### 5 概 要

- (1) 座談会趣旨説明
- (2) 開会
- (3) 区長会長あいさつ
- (4) 市長あいさつ（市政状況説明 約30分）
- (5) 座談会の概要説明
- (6) 座談会
- (7) 閉会

### 6 座談会の概要

#### 座長

今回の座談会のテーマは大きく分けて2つ。最初に①住民協働についてを議題とする。

#### 発言者

今回市長との座談会が開催されるので、地区の方々から色々な意見を聞いてきた。多くの区民から「人口減少とそれに伴う税収の減少問題と、こうした中で市議会の議員制度の見直しを行ったらどうか」との意見をいただいた。議員定数、歳費は適正かどうか。農業委員会公選を無くし、経費の掛からない農業委員会の運営となると聞いたが、市議会議員も推薦議員など実施してはどうか。議員にか

かる経費を減らし、市民生活に還元できる支出とならないか。住民は市の財政がひっ迫しないことを願っている。

## 市長

農業委員会については、国の制度が変わったための変更である。市議会への推薦議員については、民主主義の原則で選挙で行うことなので、変更はできないと考える。

匝瑳市では、合併時24人の議員でスタートしたが、その後、市議会において検討し、4年前の市議会議員選挙時に20人に削減した。今回は議員数の削減は無いが、議員報酬の削減、カットについては、議会が自主的に2回行っている。一つは合併直後1年間2.5%カットし、もう一つは去年7月から今年の3月まで7.5%のカットを行った。昨年の削減については、国家公務員の賃金削減に伴い、市職員も平均8%のカットがあり、こうした中で議会の機運が高まり自主的にカットしたもので、全国的に見ても稀であった。自分としてはありがたいと感じた。

## 発言者

私たちの地区、区長会でも議員の定数が多いことが話題となる。具体的に小選挙区制として、各地区1人ぐらいにならないか。議員定数が削減されれば、市議会議員活動もより活性化すると考えるがいかがか。

また、議員報酬を日当制を導入してはどうか。

また、匝瑳市の政務調査費についても伺いたい。

## 市長

小選挙区については、選挙管理委員会に提案があった旨は報告する。しかし、選挙管理委員会がどう考えるかとなると、難しいと思う。

議員報酬の日当制は現在もやっている自治体があると聞くが、こうしたことは、議員が議会運営の中で検討されるべきものと考えている。

政務調査費の具体的な話は総務課長より回答する。

## 総務課長

政務調査費は平成24年から政務活動費と名称を変え支出している。額は、一人当たり年間15万円、月換算で12,500円で年度当初の4月にまとめて支出している。政務活動費は、議員の活動調査研究、研修、活動報告等に利用する費用で、3月末に領収書原本添付で議会事務局へ費用内容を提出していただき、チェックしている。余った金額は返していただいている。

参考に、他の市では、銚子市が年間36万円、旭市が12万円と、市によって金額が違うが、そのチェックについては、どこの市でも厳しく行っている。

## 座長

協働という観点を拡大解釈し、議員の問題としての発言であったが、市議会議員選挙前のこの時期という点を考慮いただき、市長のご理解を賜りたい。

## 発言者

飯高地区は高齢化が著しく47%が高齢者である。市民協働は重要だが、高齢化で地域の世代交代が進んでいないため、行政と協働するにしても、相手がいない状況となっている。市の施策として、人が増えるような産業を積極的に誘致してもらいたい。

## 市長

本市は約29%の高齢化率で、市としても高齢化の問題は苦慮している。市としては、高齢者支援課、福祉課、社会福祉協議会の協力で要支援者の把握に努めているが、地域の方との一体感で、高齢者の見守りや見回りが大切であると考えている。地区全体で協力し、力添えをいただきたい。

若い人が来るためには、雇用の場が必要で、本市には「みどり平工業団地」があり、現在27社、900~1000人の雇用者がある。より多くの方の雇用を生むために、敷地を有効に使えばさらに大きく操業できるのではないかと考えられるので、みどり平工業団地連絡協議会へ提言してまいりたい。

## 発言者

この先、匝瑳市は続いていくのか、再合併は無いのか心配である。

自分なりに考えると、一番の問題は今後の財政問題であり、地方への交付金を考慮しつつも、大切なのは「自ら稼ぐ場」となるようにすることと考える。

匝瑳市は八日市場駅を中心として考え、南側の道路の有効利用とJ T跡地利用を真剣に考える時ではないか。

また、観光事業の充実も急務と考える。現在の市内循環バスを「飯高檀林」「植木」などの観光スポットを周る観光客中心のものとし、高齢者などの利用者はその間を利用するようにした、観光地へ短時間に行けるバスとしてはどうか。

また「植木のまち」を活用した取り組みを充実させると、もっと色々なことができるようになるのではないかと考える。

収入を増やす施策、自分たちの責任で稼ぐ街となるように、市長には先頭にたって活躍していただきたい。

## 市長

駅の南側の利用については現在も担当課に検討を指示しているところである。J T跡地を含んだ都市開発、駅南口改札設置については鋭意努力をしてまいりたい。駅周辺の開発を本市の活性化の起爆剤にできたらと考えている。

## 発言者

合併交付金が9年目で、10年目からは1億円下がるとのことだが、同じ規模の財政運営をした場合、市債が増えるのか。

## 市長

現在の財政運営は、合併10年目以降を想定し行っている。無理せず計画通りやれば、心配はないと考える。合併算定替えがなくなった中での市政運営について、財政課長より説明する。

## 財政課長

平成18年に合併したが、これまでのところ行政運営の効率化が図られている。

例えば、人件費の削減など合併前と比べ9億円の削減となり、削減経費が少子高齢化の対策経費への充当や財政調整基金への積み立てに充て、合併算定替えの財政運営に備えている。

地方債は151億円あり、その約73.5%を国が補てんするので、残りの約26.5%が実質市が将来返済する金額である。

### **発言者**

実質公債費比率はどれぐらいか。

### **財政課長**

実質公債費比率は7.6%で、県内平均は県下37市中、19番目である。

### **発言者**

市民一人当たりの負債額はいくらか。

### **財政課長**

一人当たりになると38万8千円で、県内では28番目。しかし総額としては県内では7番目に少ない。

### **発言者**

市民病院と消防組合施設の建て替えについては、構想からずれないように早期実現をお願いしたい。

吉田地区は急傾斜の中に生活している世帯も多く、生活排水はドブか、すぐ下の水田の用水路に入ってしまう。飯高地区、豊和地区も垂れ流しの状態が多いので、下水道整備について市の大きな事業として計画の中に入れていただきたいがいかがか。

### **市長**

下水道の整備は大変費用が掛かり、旭市や銚子市でも中央の一部に導入しているが、維持が大変と伺っている。匝瑳市としては、事業実施について、厳しい状

況と感じており、計画の予定は無い。

## **副市長**

旭市、銚子市について参考にすると、下水道は必要と分かっているにもかかわらず加入率の点、維持予算の点等で、非常に厳しい現状がある。

匝瑳市としては、合併処理浄化槽の補助制度の推進に努めているところであり、市民の皆さんにも合併処理浄化槽普及についてご理解をいただきたい。

## **発言者**

以前、集落内に側溝を作ってくれと、個人が申し出たところ、市役所から「計画がありません。」の一言で終わってしまったことがあった。

## **市長**

側溝の整備についても、担当課への相談となるが、今はそのようなことは無いと思う。真に必要なかどうかチェックし判断してまいりたい。

## **座長**

続いて、テーマの②区長会の役割について質問をお願いします。

## **発言者**

区長会の役割について、まず区長に初めてなる人が大半だが、区長としてどのように行動したらいいのか、区長としての責任、権利、義務がどのようにあるのか伺いたい。

また、区長の意見が行政にどのように反映されるかよく分からない。区長として市の活性化のために提言していいのか、区長は災害時の誘導指示だけでいいのか、区民の日常生活の向上のために努力する必要があるのではと考えるがいかがか。

## **市長**

市役所としては区長からの声を大事にしている。区長の声は、地区住民の代表

としての声として受け止めているので、職員も重く受け止め聞いている。

区長の任期は、1年と2年のところが多く、仕事を覚えたころ終わってしまうという声も聞く。しかし、自主防災組織の役員として、長く務め、区民と連携していただければ、災害時の指示、誘導などを自主防災の立場、区民の立場で実行できるのではないかと考える。自主防災組織が未設置の区にあっては、区長の力で自主防災の組織づくりをお願いしたい。

### **発言者**

野栄町の時には、以前、堀川では、町議会議員が3人いて、区の要望を議員として意見をあげるより区長としての意見をあげるようにと言われた。匝瑳市になってからは、議員の要望は聞くが、区長の意見が通らないと聞いたことがある。「区長の意見を尊重します」と言っていたらと区長としてのやりがいがある。

### **市長**

現在匝瑳市では、地区の陳情は区長名で出してもらっていることとなっている。区長名で陳情されれば、公式文書として受理している。

### **副市長**

陳情は区の代表の区長名でいただき、市長の確認を経て、市長から担当課へ指示を行っている。区の代表者の紹介時に、議員が同行される場合もある。

### **発言者**

区民に今のことを知らせて良いか。

### **市長**

地区の要望は、区長が責任を持ってやっていただきたい。

### **発言者**

区長であれば、住民の方も意見が言いやすい。区民一人ひとりが区長を通じ、直接的に市長への意見ルートができると感じる。区長を受けた人のやりがいが生

まれる。

### **発言者**

市の防災訓練の参加者が少ない。どのように周知すれば、参加が増えるか、市として積極的に広報活動をいただければと思う。

### **発言者**

栄地区も同じで、自主防災会の役員も半分しか参加せず、人が集まらなかった。総務課職員は一生懸命やっていたが、役員でも防災の支部長が出なかった。不参加の場合、代理者が出席するように市から文書を出してもらいたい。

参加が増えるような、良い案を教えてください。

### **市長**

大事な防災訓練に、参加者が少ないという状況で、区長の心情をお察しする。各地区の参加者数の報告は受けているが、参加者はもう少しほしいと感じた。市としては、説明するだけでなく訓練に来ていただくようPRの方法を考え、区長、自主防災役員と話をしていきたい。

また、11月16日に実施する津波避難訓練についても、多くの方に参加してもらいたいと思う。

### **発言者**

栄地区では自主防災の役員が40名いる。今回の防災訓練はこの役員対象であったと思うが、一般の住民の参加する訓練は実施しないのか。

### **市長**

訓練の方法には、役員育成型と全市民対象としたものがある。今回の防災訓練は役員育成型の訓練であったが、次の津波避難訓練は全市民参加型である。周知、PRの仕方を工夫してまいりたい。



## **総務課長**

11月に実施する津波避難訓練は、共興、野田、栄、今泉、新堀の各自主防災会の区域を対象として、この地区の全市民が対象となる。全員に周知するよう回覧板によるPRを行う。

## **発言者**

自主防災の役員は各区長があて職になっている。30数名いる役員は、防災訓練の説明会で発表している。区の役員引き継ぎの申し送り事項で役員となることは聞いているが、防災訓練の直前まで実際の動きは無く、直前での発表で当日も何をしていいのかわからない状況。4月位に説明会が行えないか。

## **市長**

自主防災の役員は地区の問題として、早めに役員が動いていただけたらと思う。市としては応援する立場なので、役員推薦などは地区で動いていただきたいと思う。

防災の問題については、地区と行政の連携を良くしていきたい。各地区の自主防災会の活動がしやすくなるよう検討したい。

## **発言者**

自主的防災活動のための研修などのバックアップをお願いしたい。

## **発言者**

自主防災の会長だが、防災の知識が無く先頭を取れない。

## **市長**

自主防災会の会長は各地区の区長会長がトップとなるケースが多い。

## **発言者**

防犯協会、交通安全協会などは経験のある人が役職となる。自主防災会も、ノウハウのある人がトップとなるようにはできないのか。区長は脇役として応援で

きる体制としたいが。

## **市長**

区長が自主防災の会長となる地区にあっては、ある程度準備期間が必要と考えられる。行政から協力できることがあれば助言させていただく。

## **発言者**

避難マップの中に、公園が避難場所となっているが、そこへ避難した人を自主防災会として、誰が面倒を見るのか。

## **総務課長**

ハザードマップには避難場所と指定避難所を記載してある。指定避難所は夜明かしかできる場所だが、避難場所は公園など一時的な緊急避難の場所として集まってもらいたい。避難場所への集合後、指定避難所へ行ってもらうこととなる。

## **発言者**

その公園に避難した人たちを誘導する指導者はだれか。

## **総務課長**

避難場所へは市の職員が行く。各地区に各地区支部に所属する職員が出向くようになっている。市の体制として、各地区に支部長と各地区5人ずつの支部員を置いている。

## **発言者**

訓練時ではなく、災害時に、その職員が回れるのか。

## **発言者**

支部長の下に支部員がいて、避難場所へ行き、指定避難所へ誘導することは分かったが、訓練では行っていない。自主防災会の会長の指示で、支部長が動くこととなっているはずであり、自主防災会長はこの点に自覚を持つべきで、自分の

区のことはこの支部長と直接話をしていいはずだ。

### **発言者**

支部員たちは、本当に行動できるのか。

### **市長**

ぬかりなく配置し誘導できるよう、胆に銘じ計画させていただく。

### **発言者**

津波避難対策として、長谷地先に避難タワーが設置されると聞いているが、吉崎の住民から、避難道路を整備してほしいという要望をいただいている。

### **市長**

津波避難タワーについては、今年、今泉地区に設置するが、あと2か所作りた  
いと考えている。場所は栢田、共興と考えているが具体的な場所、設置期日は未  
定。今年の今泉の設置過程の中で2か所を決めていきたい。長谷地先への設置に  
ついては、市としては地区からご意見があったと承っている。場所は人の流れと  
地形を考え決定していく。津波の避難誘導については、匝瑳市の津波避難計画に  
位置付けているが、今後設置のタワーに対する誘導路は具体的に申し上げる時期  
ではない。相対的な避難道路については、策定してある本計画を見ていただきた  
い。

### **発言者**

須賀地区は堀川、川辺、栄地区と地続きで、海拔は須賀保育園で6 m程度と子  
供の時に聞いたことがある。防災訓練で想定したマグニチュード6.7、東日本大  
震災のマグニチュード9だと、九十九里の活断層から津波が来る想定が出来るの  
ではないか。訓練に津波を取り入れてもらいたい。また、ハザードマップに海拔  
の標記を入れてもらいたい。

## 副市長

今回のハザードマップは、千葉県元禄地震級のものを想定し策定された計画が元となっている。この計画では、匝瑳市内での津波の発生は、県道飯岡・片貝線より北へは6.7メートル以上の津波は来ないことが想定されている。しかし、想定外が起こりうることもあるので、第一次避難対象地域を県道飯岡・一宮線までとし、第二次避難対象地域を県道飯岡・片貝線より南側として定めた。

## 座長

ハザードマップに海拔を入れたらどうか。

## 総務課長

ハザードマップへの高低の記載は、次回のマップ作りに付け加えたい。なお、避難道路電柱には海拔何メートルを記載している。

## 発言者

南北の縦線の道路のみではなく、海岸道路、飯岡・一宮線、須賀保育園の前などは、横線で電柱に表示し、普段から分かるようにしてもらいたい。

## 市長

市としては設置しているつもりだが、検討させていただく。

以上